

第9回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会
チーム 参加募集要項

学生プール

チーム1次要項

2017年11月24日

第9回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会
実行委員会

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は当協会事業に対しまして格別なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、下記の通り「第9回全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会」を開催いたします。

つきましては開催にあたり参加選手の募集をさせていただきますので皆様のご参加をお待ち申し上げます。

敬具

記

- 日 程 2018年1月27日(土)～28日(日)
■場 所 富士水泳場(静岡県富士市)
■主 催 特定非営利活動法人日本ライフセービング協会
■後援(予定) スポーツ庁、静岡県、静岡県教育委員会、富士市、富士市教育委員会
■協賛(予定) 株式会社三洋物産/株式会社三洋販売
■協力(予定) 富士市ホテル旅館業組合、有限会社吉田三郎商店、日本ライフセービング協会中部支部

■競技種目 【個人種目】

- ※01 200m障害物スイム(女)
※02 200m障害物スイム(男)
※03 50mマネキンキャリー(女)
※04 50mマネキンキャリー(男)
※05 100mレスキューメドレー(女)
※06 100mレスキューメドレー(男)
※07 100mマネキンキャリー・ウィズフィン(女)
※08 100mマネキンキャリー・ウィズフィン(男)
※09 100mマネキントウ・ウィズフィン(女)
※10 100mマネキントウ・ウィズフィン(男)
※11 200mスーパーライフセーバー(女)
※12 200mスーパーライフセーバー(男)

【チーム種目】各チーム(男女別)からのエントリーは1組のみとします。

- 13 4×50m障害物リレー(女)
14 4×50m障害物リレー(男)
15 4×25mマネキンリレー(女)
16 4×25mマネキンリレー(男)
17 12.5mラインスロー(女)
18 12.5mラインスロー(男)
19 4×50mメドレーリレー(女)
20 4×50mメドレーリレー(男)

【特別種目】各チーム(男女別)からのエントリーは1組のみとします。

- 21 BLSアセスメント(女) <各チーム2名抽選>
22 BLSアセスメント(男) <各チーム2名抽選>

- ◆ ※印の種目は、エントリーする条件としてエントリー標準タイムを設定します。詳細は別紙「エントリー標準タイム導入について」を参照してください。
◆ 下線のある種目は、原則タイム決勝で行います。エントリー数によりタイム決勝を予選・決勝に変更することもあります。

- ◆ BLSアセスメントについては、1回の手技にて行います。
- ◆ BLSアセスメントについては、必須参加種目とし、各チームの登録競技者の中から2名を抽選で選出します。
(1名で参加のチームについては1名で実施)詳細や得点につきましては別紙でお知らせいたします。なお、表彰対象とは致しません
- ◆ チーム種目および特別種目は、各クラブから1チームのエントリーとします。

■タイムテーブル

別紙参照。なお、タイムテーブルは選手エントリー数により変更する場合があります。

■得点方法

タイム決勝及び決勝の結果に対して得点が加算（男女別）されます。今大会では個人、チーム種目及び特別種目で得点が異なります。配点は下記の通りとします。

.....

[個人]

1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点

[チーム種目及び特別種目] ※BLSアセスメントを除く

1位-16点、2位-14点、3位-12点、4位-10点、5位-8点、6位-6点、7位-4点、8位-2点

[BLSアセスメント]

A判定-8点、B判定-0点

.....

- ① チームの総合得点が同点の場合は、1位の種目の多いチームを、1位の種目が同数の場合は、2位の種目の多いチームをとるように総合順位を決定します。
- ② 総合順位は男女別とし、本大会で実施する10種目中8種目（実施種目の80%）以上の最終競技結果をもって成立するものとします（BLSは種目に含まれない）。
- ③ 決勝で失格の場合は0点とします。
- ④ ブロッキングシステムを採用します。

《ブロッキングシステムとは》

個人種目の上位8位内に同一クラブの選手が複数名入賞していた場合は、最も上位の順位のみが総合得点に反映される。

■表彰

各種目上位1～8位を入賞とします。また、1～3位はメダルを授与し、表彰式で表彰します。また、チーム総合得点により上位1～8位を入賞とし、1～3位のチームを表彰式で表彰します。※全て男女別での入賞、メダル授与および表彰とします。

■審判員およびスタッフの選出について（本大会に選手登録をしていない方）

参加クラブは、下記に応じて認定審判員およびスタッフを選出すること。

- ① 各クラブは、エントリー人数に従って審判員を選出すること。男子チームと女子チームは別であるので、別々に選出すること。（男女合わせての出場数ではありません）
- ② 審判員およびスタッフは原則として2日間通して参加できる者を選出すること。2日間通して審判員およびスタッフが参加できない場合についても交通費は1名分（審判員は上限5,000円、スタッフは一律1,000円/1日）とする。
- ③ 審判員を2名以上選出しなければならないチームにあっては、1名審判員を選出していれば残りの人数はスタッフの選出でも良い。
- ④ 各クラブおよびチームからの選出審判員は学生とする。
- ⑤ 準一般会員の審判員およびスタッフは、宿泊や交通費の支給はありません。
- ⑥ 選出した審判員およびスタッフが参加出来なくなった場合は、必ず代わりの方を選出すること。
- ⑦ 選出人数については、以下のとおりとする。
 - ・選手 5～20名=1名以上
 - ・選手 21～40名=2名以上
 - ・選手 41名以上=3名以上

【申し込み】

別紙の審判員募集要項を確認の上「審判員・スタッフ参加申込書」を提出してください。

■参加費

選手1名につき6,000円をエントリー締切日までに指定の口座にお振込みください。振込先については「大会エントリーの手引き」でご確認ください。申込締め切り後であっても、エントリーミスによる出場種目の変更が可能です。但し、12月15日（金）申込締め切り時にエントリーされている（選手登録している）方のみ対象とし、新たな選手のエントリーは認められません。また、変更手数料として、1つの変更につき、3,000円の手料を頂戴いたします。振込先は参加費と同様の口座です。期限内に必ずお振込みください。

期限内に変更手数料の振込のない場合は、変更を受け付けません。

※記入ミス（エントリータイム等）も変更対象になります。

※棄権の場合は、変更手数料は必要ありません。

例： 種目を1つ変更＝＋3,000円 種目を2つ変更＝＋6,000円

■エントリーの制限

個人種目のエントリーは、選手1名につき2種目までとします。ただし、チーム種目はこの限りではありません。種目により条件としてエントリー標準タイムを設定しています。詳細は別紙「エントリー標準タイム導入について」を参照してください。

■代表者会議

競技進行や競技上の注意事項について説明する代表者会議を開催します。詳細につきましては後日チーム代表者宛にご連絡いたします。大会直前の重要な情報を伝達し、各種目の最終出場確認をするため、代表者会議には必ず出席してください。

※（予定）1月27日（土） 08時00分 水泳場内の会議室

■宿泊

競大会参加チームの宿泊は、富士市ホテル旅館業協同組合がチームごとに宿の振り分け・決定を行います。宿泊が必要なチームは、別紙の申込書により、**必ず富士市ホテル旅館業協同組合にFAX申込みください。**

※直接宿へのお申込はご遠慮ください。なお、宿の指定等ご希望あれば、備考欄にご記入いただき、お電話（0545-61-0619）等で富士市ホテル旅館業協同組合にご相談ください。

※別紙『～ご宿泊申し込みのご案内～』をご参照ください。

■観戦席

会場の場所取り等での混乱を避けるため、各チームの観戦席の区分を予め主催者側で指定させていただきます。

■申込方法

「参加競技者募集要項」「大会参加規定」を熟読し、学校（チーム）単位でお申し込みください。提出物はデータファイル送信と書類の郵送がごさいます。詳細は「大会エントリーの手引き」でご確認の上、記入漏れ・記入ミスのないように十分ご注意ください。

※申込締切： 2017年12月15日（金）

データ提出；2017年12月15日（金）24：00受信分まで

郵送提出；2017年12月15日（金）消印有効

- ※ 締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご注意ください。なお、締め切り前であればエントリーデータや提出書類の修正は可能です。ただし、修正したものの締切日は上記に設定した通りとします。
- ※ 参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等は参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。
- ※ 参加申し込み締切日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方は、本大会に出場できませんので、予めご了承ください。

	提出方法提出書類等の概要	提出方法	提出期限(締切)
データ/書類	●チーム/選手エントリー/PR データ (チームエントリーフォームA・B・C)	メール	12月15日(金)24:00受信分まで
	●同意書 (チームエントリーフォームD)	郵送	12月15日(金)当日消印有効
	●大学紹介動画 (詳細は別紙)	メール	12月15日(金)24:00受信分まで
	●審判員・スタッフ申込用紙	郵送またはメール	12月15日(金)24:00受信分(メール)、 12月15日(金)当日消印有効(郵送)
	●(希望者のみ) エントリーミスによる出場種目の変更の 申込エクセルデータ	メール	2018年1月5日(金)各チームのエントリー確認データをホームページ上にアップロード掲出しますので、各チームご確認ください ～1月12日(金)24:00受信分
振込	●参加費の振込	「大会エントリーの手引き」、参加費の振込をご参照の上、手続き下さい	12月15日(金)当日消印有効
	●選手の個人年会費 (2017年度 正会員 or 一般会員)	http://www.jla.gr.jp/home.htm	
	●チームの団体年会費 (2017年度 団体正会員 or 団体一般会員)	「会員になるには」をご参照の上、手続き下さい	
	●(エントリーミスによる出場種目の変更希望者のみ) 変更手数料	参加費の振込先と同様の口座	1月12日(金)当日消印有効
注)	<p>※締切りを過ぎたものや書類の不備、上記の提出書類が揃っていない場合は、受け付けませんので、ご了承ください。</p> <p>※参加規定を満たしていない場合、参加費の未納等により、大会参加を受け付けない場合がありますのでご注意ください。</p> <p>※参加申し込み締切り日までに、会員登録および会費納入の手続きをされていない団体・個人会員の方(チーム選出の認定審判員も含む)は、本大会に出場できませんので、予めご了承下さい。</p>		

■提出先

□メール提出先； compe@jla.gr.jp

※ 必ず受信完了メールが届きます。1週間経っても JLA 事務局から受信完了メールが届かなければ、お手数ですがお電話にてお問合せ下さい。

□郵送提出先； 日本ライフセービング協会「学生プールエントリー」

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップビル 1F

■その他

- ・ウォーミングアップに使用するプールは水深 1.2m のため飛び込みは禁止とします。
また、コースロープは切れやすいため捕まったり寄りかかったりしないください。
- ・スタート台については調整可能なバックプレートを使用します。

■競技会参加とライフセービング資格連動のご案内

競技者は、ベーシックまたはプールライフガード以上の資格を所有していなければならない。
(別紙「2017 競技会参加規程とライフセービング資格連動の件」を参照)

■お申込み・お問い合わせ先

日本ライフセービング協会事務局（業務時間：平日 9：00-18：00）

〒105-0013 東京都港区浜松町 2-1-18 トップスビル 1 階

TEL：03-3459-1445 FAX：03-3459-1446

全日本学生ライフセービング・プール競技選手権大会

参加規程

1 参加資格

競技者の参加資格は下記を満たしている者、若しくは本協会が特別に参加を認めた者でなければならない。

- 1-1 競技者は、大会初日当日満 18 歳以上でなければならない。
- 1-2 競技者は、ライフセービング活動を志し、出場する競技会の過去 1 年以内に海岸やプール等水辺での監視・救助活動、協会が認める教育活動に 25 時間以上従事した学生でなければならない。
- 1-3 競技者は、本協会の団体正会員・団体一般会員に所属かつ個人正会員、若しくは個人一般会員として登録している学生であること。
- 1-4 チーム参加の場合、参加クラブの大学または専門学校に在籍し、その所属する大学および専門学校が協会に登録されていること。
- 1-5 1-4 に該当しない学生は、個人種目のみ参加を認める（ただし、クラブキャップの登録は必要なので事前に確認すること）。
- 1-6 エントリー標準タイムが設定されている種目では、当該種目のエントリー標準タイム以下の者（クラブ代表の責任において申告すること）。
- 1-7 競技者は、ベーシックまたはプールライフガード以上の資格を所有していなければならない。
（別紙「2017 競技会参加規定とライフセービング資格運動の件」）

2 チーム構成

- 2-1 チームは、出場資格を満たした、それぞれの大学又は専門学校のクラブに在籍している学生のみで構成されていること。
- 2-2 1 つの学校からの出場チーム数は 1 チームとする。但し、同じ学校でも校舎が離れている等の事由により別に活動しているクラブがある場合は、その活動状況を審査し、1 学校で 2 チーム以上の出場を認める場合もある。
- 2-3 2-2 においては調査を必要とするため、2 ヶ月前までに必ず申請をすませる事とする。なお、期限を過ぎたときは今回の大会には起用しない。
- 2-4 本大会のチーム構成は、男子チーム・女子チームとする。男女混合チームとしての参加は認められない。

3 クラブ名

参加クラブ名は大学又は専門学校名とする。但し、同じ学校でも校舎が離れている等の事由により別に活動しているクラブがある場合で、1 学校で 2 チーム以上の参加をする場合は、大学名＋校舎名までとする。

4 出場登録

- 4-1 参加選手は個人種目、チーム種目にかかわらずあらかじめ所定の用紙を用い出場種目の登録をしなければならない。なお、登録後の出場種目の変更及び未登録の種目への出場はできない。
- 4-2 登録種目数は、1 人 2 種目を限度とする（ただし、チーム種目は除く）。

5 クラブ代表者

クラブを代表する者としてクラブ代表者を 1 名おかななければならない。なお、クラブ代表者と選手はこれを兼任することができる。また、クラブ代表者は必ず代表者会議に参加しなければならない。なお、止むを得ずクラブ代表者が出席できない場合は、クラブ代表者の責任において参加選手で代表者に準ずる者が出席すること。

6 クラブユニフォーム及び競技中の衣類

- 6-1 各チームは、式典や表彰式および競技に適したユニフォーム、水着、キャップを持たなければならない。ラッシュガードは、主催団体から特別な指示がない限り競技中、任意に着用することができる。
- 6-2 ユニフォーム、水着、キャップの性質、デザインが一般良識に反すると主催団体が判断した場合は、いかなる競技者も競技に参加することができない。※別途、水着に関する規定を必ず確認すること。
- 6-3 キャップは、競技会の申込締切（2017 年 12 月 15 日）前までに本協会に登録されていなければならない。

- 6-4 キャップは、クラブ全員が同様の色とパターンのキャップでなければならない。オーシャン用とプール用で色やパターンが異なる場合、併用できない。スタートの後に、キャップが取れたり、失ったりした場合でも違反なしに競技が終了できていれば失格とはならない。
- 6-5 クラブのユニフォーム、水着、キャップ、ラッシュガードに競技会のスポンサーと対立するような商標、商標名があると主催団体が判断した場合、その対応は主催団体の指示に従わなければならない。
※キャップ登録は、すでに登録を済ませ変更がない場合は必要ない。登録をしていないクラブはクラブキャップ登録申請書を届出しなければならない。
※水着に出場チーム以外の学校名・クラブ名が記載のものは混乱を招くため着用できない。

7 表彰

- 7-1 日本ライフセービング協会理事長杯は、ライフセービングチーム最優秀の証として総合優勝チームに贈られる。表彰は、閉会式にて行う。
- 7-2 種目別表彰
各種目上位1~8位は入賞とし、1~3位にはメダルを授与する。

8 参加費

- 8-1 参加費は、出場する種目数にかかわらず1名につき6,000円とする。
- 8-2 参加費は、参加申し込みの締め切り日までに支払わなければならない。
- 8-3 参加申込締め切り後の出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 8-4 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも参加費は返還されない。
- 8-5 変更手数料（申込に過誤があった場合の、出場登録（申込締切）後の「出場種目の変更」の手数料）は、1つの変更につき、3,000円とする。
- 8-6 変更手数料は、あらかじめ指定された期日までに支払わなければならない。
- 8-7 出場種目の変更申込後に、出場登録の取り消し、天候その他の理由により、大会のタイムスケジュール変更や、やむを得ず中止になった場合でも参加費は返還されない。
- 8-8 参加選手が欠場、あるいは失格となった場合でも、変更手数料は返還されない。

9 競技器材

- 9-1 競技で使用使用する器材はライフセービング競技規則「第7章 器材の規格」の基準を満たさなければならない。
- 9-2 プール競技で使用使用するレスキューチューブ、障害物、マネキン、スローラインは、主催団体が用意するものとする。
- 9-3 主催団体は、競技者の競技器材の検査・再検査を競技前、競技中、競技終了後任意に行うことができる。競技器材が基準を満たしていない場合、その競技者はその器材を使用できないか、または失格となる。

10 競技規則

- 10-1 競技規則は「ライフセービング競技規則（2016年版）」に則り実施する。
- 10-2 泳力等の不足や傷病等により競技の続行が危険と判断した場合は、対象選手の競技を中断することがある。
- 10-3 BLS アセスメントは、全チームが参加することを必須とし、参加しないチームにおいては総合順位に含まれないこととする。また、出場選手は抽選により決定する。

11 得点方法

- 11-1 個人種目の得点においては下記の通りとする。
1位-8点、2位-7点、3位-6点、4位-5点、5位-4点、6位-3点、7位-2点、8位-1点
- 11-2 チーム種目及び特別種目（BLSアセスメントを除く）においては下記の通りとする。
1位-16点、2位-14点、3位-12点、4位-10点、5位-8点、6位-6点、7位-4点、8位-2点
- 11-3 BLS アセスメントの得点においては下記の通りとする。
A判定-8点、B判定-0点

12 認定審判員の選出

- 12-1 参加チームは必要に応じて認定審判員を選出しなければならない。
- 12-2 参加する審判員は、別紙審判員・スタッフ参加募集要項の「審判員・スタッフ参加申込書」に必要事

項を記入し申し込むこと。

- 12-3 2名以上選出するクラブは「審判員・スタッフ参加申込書」を各自提出すること。
- 12-4 選出する審判員は、C級認定審判員資格以上を取得し選手として登録していないこと。
- 12-5 選出する審判員は、BLS以上の資格を所有していなければならない。
(別紙「2017 競技会参加規定とライフセービング資格連動の件」)
- 12-6 選出する審判員は2日間を通じて参加できること。
- 12-7 審判員参加に関わる交通費、朝食、昼食は別紙「審判員・スタッフ募集要項」に基づき主催者が負担する(準一般会員の方には宿泊の準備・交通費の支給はございません)。

13 その他

- 13-1 大会中に大会主催者および大会主催者が認めた者が撮影した写真、映像を、ライフセービングの広報の目的で使用する可能性がある。
- 13-2 大会中に大会主催者が撮影を制限したり、拒否したりすることがある。
- 13-3 大会主催者への提出書類の記載事項に虚偽が認められた場合、大会への参加や記録が取り消されることがある。

以上。